結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
電話 (公) 043（222）7207番
99.3.5 No. 4927

99春闘新賃金要求を提出

JR貨物の格差ーベアゼロ攻撃許すな！

動労総連合は、2月23日（貨物）、24日（東日本）に、四月以降の賃金引き上げ、労働条件改善要求を提出した。第一回交渉はそれぞれ2月23日、3月4日に行われ、貨物とは本日5日にも第二回交渉がもたれようとしている。

また、JR貨物に対しては別途諸手当の全般的な改正要求を提出し、新賃金交渉と平行して強く改善を求める決意である。

春闘要求の骨子

1. 三八、〇〇〇円の大幅賃金引き上げ。
2. 基本給を重点をおいた配分。
3. 賃金の60歳まで100％支給と、年金支給開始年令の引き上げに対応させた定年退職年令を引き上げ。
4. 勤続35年で一般職最高等級まで昇進・昇格ができる基準昇進制度の確立
5. 第二基本給制度の廃止
6. 私傷病欠勤の有給化。
7. 割増賃金単価の改善。

アンケート結果

総連合が実施したアンケート調査では、組合員の生活実態は昨年に比較して「非常に苦しくなっている」が三一・〇％、「苦しくなっている」が四〇・九％で、現在の生活程度について八二・八％の者が不満を訴え、強く改善を求めている。生活費についても、「家計は毎月の一カ月の賃金で間に合いましたか」の問いに対し八七・七％の組合員が「不足した」と答え、組合員がこの調査において要求している賃金引き上げ額の平均は四〇、六七六円であった。またその際に考慮した点は、「生活実感に基づいて要求した」が七四・三％を占めている。

貨物格差粉砕！

99春闘の最大の課題は、JR貨物の格差回答を粉砕することだ。JR貨物が直面する経営危機の最大の要因が、国鉄分割・民営化政策に伴う構造的問題にあることは明らかである。これを全て現場で働く者への犠牲として転嫁することは断じて許されることではない。

貨物職場では、この間の賃金格差拡大や新フレイト21計画に基づいて要員削減・労働強化が次々とのしかかる状況のなかで怒りの声が充満している。

JR貨物では、一昨年のベアが一〇〇〇円、昨年の六〇〇円に続いて、今年はベアゼロがささやかれている状態だ。こんなことは断じて許せない！全力で99春闘に起ちあがろう。

またわれわれは、99春闘と結合して、強制配転者の原職復帰や運転保安の確立に向けた経営姿勢の抜本的な改善、そして何よりも一〇四七名の原職復帰をストライキで闘おう！大失業時代に抗する春闘を創りあげよう！

山手貨物線での触車死亡事故で申し入れ

JRの責任は重大

2月21日、山手貨物線で5名の下請け労働者の尊い生命を奪う重大事故が発生した。この事故は、〇時一四分に臨時の回送列車が通ることを知らないまま、その数分前に作業に入り発生したものだ。

JR東日本は、「列車ダイヤをこちらから連絡する義務はない」と称して自らの責任回避に汲々としている。このような言い逃れは断じて許されないことだ。事故は、一切を下請け業者まかせにしたJR東日本の安全対策の無責任さ、外注化による合理化ー要員削減攻撃の実態をあらわにした。業者との関係ばかりではなく、JRがあらゆる場面で安全のチェック体制を崩壊させてしまっていることは、われわれがこの間繰り返し指摘し続けてきたとおりである。五名の労働者の痛ましい死はJRが招いたものと言っても過言ではない。

申し入れを提出

3月4日、動労総連合はJR東日本に対し、この重大事故の事実関係の究明を求めて次のとおり申し入れを提出した。

一、標記触車事故の原因および背後要因をどのように考えているのか、工事の発注から事故発生に到る経過をおって詳細に明らかにされたい。

二、JR発足以降の同種事故（作業中の触車事故及び、作業者が臨時列車・貨物列車等が走行していることを把握しないまま作業を開始してしまったために発生した事故）の発生状況・発生原因を、年度をおって詳細に明らかにされたい。

三、今次事故に係わって、今後の安全対策をどのように考えているのか具体的に明らかにされたい。

線路内工事直前のダイヤ確認 JR5社 業者まかせ 大手私鉄と〝温度差〟

「請負業者から作業直前のダイヤ確認がない場合、連絡するか」との問いに対する各社の回答

JR北海道	こちらから連絡する義務はないが、連絡することが通例
JR東日本	こちらから連絡する義務はない
JR東海	こちらから連絡する義務はない
JR西日本	こちらから連絡する義務はない
JR四国	こちらから連絡する義務はない
JR九州	こちらから連絡する義務はない
小田急	全作業に必ず担当社員が立ち会い、業者任せにしない
京王帝都	全作業に必ず担当社員が立ち会い、業者任せにしない
京成	全作業に必ず担当社員が立ち会い、業者任せにしない
京浜急行	全作業に必ず担当社員が立ち会い、業者任せにしない
西武	最寄り駅が連絡する義務がある
東急	こちらから連絡する義務はないが、業者の要請がなくても事前にダイヤ表を渡す
東武	こちらから連絡する義務はないが、連絡することが通例